

第2話 「品質工学と実験計画法」

	品質工学	実験計画法
使用目的	技術開発	・現象解明 ・現状把握
問題解決	できる	できない
因子の振り分け	・以下因子に振り分ける ①コントロールできる因子(制御因子) ②コントロールできない因子(誤差因子) ③出力を変化させる因子(信号因子) ・誤差因子の影響を打ち消せるかがポイント	因子を振り分けずに、割りつける
喩え	どうすればリンゴが落ちないように守れるかの技術開発をする	風が吹いた時に、何個リンゴが落ちたかを調べる
良いものを作る	思想、発明	手法